

スキルタイムの意義を紹介

30日のスキルタイムには、吉野ヶ里町の古賀教育長様を始め、4名の先生方が参観においでくださいました。1年前からとは思えないほどに、システムが構築されており、子ども達全員が前向きに取り組んでいると、高く評価してくださいました。

確かにこの一年でレベルが格段に上がっています。おむすびチームの方からは、「西部小の子ども達は、何故スキルタイムをやるのかを理解してやっているように見える」と言われるまでになりました。

そこで、折角だからより高いレベルを目指してほしいと思い、全校朝会でスキルタイムの良さや他校の様子を動画で紹介しました。動画を見た子ども達はその速さに驚いたようでした。まだまだ伸びる子ども達です。

最後にスキルタイムのよさを3つ紹介しました。

スキルタイムをやると・

★ 脳(のう)がはたらく
↓
頭もよくなる
心もやさしくなる

★ 計算が早くなる
↓
算数がとくいになる
集中力があがる

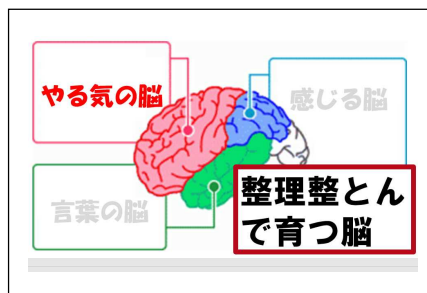
★ 漢字がおぼえられる
↓
国語がとくいになる
読む力がつく

先日、4、5年生の西部っ子ニュースには、何人もスキルタイムのがんばりを書いており、子ども達自身が伸びを実感していることを嬉しく思いました。

脳トレとも言われるスキルタイム。これからも頑張っていきたいと思えます。

やる気スイッチはどうしたら入るの？

「やる気が起きない……」「どうも集中しない……」こんな経験は誰しもしたことがあるのではないのでしょうか。理由はわからないけれども、というのも多いものです。とりわけ子ども達は何気なく口にします。ではその解決方法は？ そのヒントが7月の池田先生による生活の話にありました。



整理整とんは脳にとっての「筋トレ」

やる事が積み重なってきて頭の中が混乱してくると無性に片付けたくなるものです。脳はやる気スイッチを押すために片付けをさせてくれていると考えれば納得できます。

そして、もう一つ、やる気スイッチを入れるのは十分な睡眠だと感じます。昨晚まで混乱してまとまらなかったことが、翌朝やり始めるとさくさく進むというのは、睡眠の間に脳が不要な情報は捨て、大切なものを残すという作業をやってくれているからだと言えます。

子ども達のやる気スイッチオンのためにも、整理整頓された空間、そして10時前就寝を心がけていきましょう。

熱中症アラートが発令された1日

この日は今年初のアラート発令となり、本校運動場も気温が46度と危険な状況でした。昼休みは前日に引き続き校内で過ごすことになりました。

今週は雨模様の天気で猛暑からは解放されそうです。熱中症予防のため屋外のマスク着用はしないようにしています。登校時にマスク着用をしている子ども達をたくさん見かけます。マスクは学校に着いてからするようにお声かけをお願いします。



給食残菜0を目指して！

先日、給食委員会が中心となって頑張っていることをお知らせしました。1学期は、目標の48枚には到達しなかったものの、市内では残菜の少なさで上位に入っているとのことでした。6年生が共同調理場にアンケートをしていたことも喜ばれていました。食に対する意識が高まっているのを感じます。

4年生の外国語活動

4年生は、中地先生から外国語活動の授業を受けています。先日、研究授業が行われ、子ども達が英語を使うことに抵抗なくチャレンジする姿を見て、低学年から英語に触れていくことの重要性を再認識しました。

その日のメインアクティビティは「What day do you like?」と尋ねることで、好きな曜日となぜその曜日が好きかを知ろうという内容でした。自分は月曜が好きだけど友だちはどうなんだろう、同じ曜日でも理由は違うんだなあということを、英語で体験していくことに本活動の価値があります。

4年生とは言え、go swimming や play with my friends など中学校で使うような言い回しが出てきます。今回の学習指導要領では、卒業までに600～700の英単語を身に付けておくことが求められており、この時期から耳慣れしておくことは必須です。

さて、授業の後半、友達同士でやり取りをしようという時に、右寺さんが中地先生に、「先生達にも聞いていいですか?」とのお尋ねがありました。もちろん、快諾。教師も子ども達の会話の渦に巻き込まれてのアクティビティとなりました。

教頭先生にも果敢に聞いていく子ども達。教頭先生の答えは、「I like Sunday.」そしてその理由を聞いてクラス中大爆笑。(知りたい人は直接英語で聞いて欲しいです。)これぞ英語でやり取りするからこそ成立する面白さでした。英語で会話を楽しめたという気持ちに皆がなったことでしょう。このフレーズでいろいろな人に聞いてみるのも楽しいと思った授業でした。



授業中ではない時間に学校を回ると子ども達の素の姿に出合います。授業で頑張る姿も好きですが、子どもらしい姿を見るのもまた楽しみです★

1年生ならではの光景

整理整頓の大切さを聞いたその日の5時間目が始まる頃、1年生の〇〇さんが、教室の入口ドア付近で「先生！靴下がありません！」と訴えるような目で訴えてきました。ふと足に目をやると、右足はきちんと黒のソックスと上靴をはき、万全の体制。されど、もう片方は裸足という何ともアンバランスな恰好。笑いを押さえるのに必死でしたが、真顔で「水泳バッグにあるかも」と中をごそごそ。「先生！そこにはありません！」そうかあ、もう探したのね、と思いつつ「じゃあ、どこ?」と思っていたら、本人は思い当たるふしがあったようで、引き出しを勢いよく取り出しました。

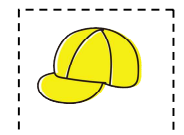
すると、本やノートがぱんぱんに入った引き出しのど真ん中に、くるりと丸まった黒靴下の片方があるではありませんか！こんなところにあるのが恥ずかしいというより、あったことが嬉しかったような顔の〇〇さん。

担任の先生から、「整理整頓をしましょう」の声がすかさず飛んできました。(笑)



高学年らしい光景

登校後、5年生の小柳さんが、1年生の帽子を水道のところで洗ってくれていました。その日は風が強く、帽子が田んぼに落ちてしまったそうで、小柳さんが拾って学校で洗ってくれていたのです。1年生の江口さんはほっとした表情で教室に向かっていました。



1・2年生の読書の花が満開に！

梅雨明けと同時に、読書の花が咲きました。校長室横にある読書の木。100冊を読み終えた子ども達の名前がズラリ。

こんなに早く満開になるのは記録的です。みんなががんばったからこそできたことです！



先日の自転車大会のねぎらいに、地区交通安全協会の西村さんと吉田さんが来校してくれました。子ども達も大喜びでした！

メダカの卵

メダカも卵も西部小のあちらこちらの優しき家にもらわれていきました。あと少し、どちらもいます。職員室廊下に飼っています。あまり手間はかかりませんので、ぜひ一家のお仲間に入れてあげてくださいませ。